

地域包括ケアモデル事業について

1 経緯

- 平成24年度に「あいちの地域包括ケアを考える懇談会」（座長：愛知県医師会長）を設置し、地域包括ケアのあり方について検討。平成26年1月に「地域包括ケアシステム構築に向けた提言」を提出。
- この提言を踏まえ、平成26年度から市町村の取組を先導するモデル事業を実施。

2 実施市町村（3年間実施）

モデル	箇所数	実施市町村
地区医師会モデル	3か所	安城市、豊川市、田原市
訪問看護ステーションモデル	1か所	新城市
医療・介護等一体提供モデル	1か所	豊明市
認知症対応モデル	1か所	半田市

・平成26年度は、単年度モデルも3か所（岡崎市、豊田市、北名古屋市）で実施

3 3年間の主な取組

26年度	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関のネットワーク化（関係機関連絡会議、地域ケア会議の開催等） 医療と介護の連携（ICTを活用した情報共有、多職種の研修、普及啓発等） 認知症に関する多職種の研修、普及啓発（認知症対応モデル）
27年度	<ul style="list-style-type: none"> 1年目の取組の継続 高齢者の社会参加・生きがいと融合した予防の取組（高齢者の介護予防のための通いの場を、元気な高齢者にボランティアとして参加してもらいながら開催等） 不足している生活支援サービスの強化策の取組の検討 要介護等の高齢者の住まいの課題に対する具体策の検討 認知症に対応した新たな取組（認知症カフェの設置等）〈認知症対応モデル〉等
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 1、2年目の取組の継続 不足している生活支援サービスの強化策の実施 要介護等の高齢者の住まいの課題に対する具体策の実施 認知症に対応した取組の充実（認知症カフェの運営等）〈認知症対応モデル〉等

4 平成26年度の特徴的な取組

安城市	在宅で医療や介護を受けている者の情報を、医療・介護等関係者間で共有するため「在宅見守りノート」を作成
豊川市	豊川市在宅医療連携拠点推進協議会において、在宅医療・介護の連携に関する課題や今後の方向性を「在宅医療・介護連携推進に関する提言」としてとりまとめ
田原市	医療と介護の連携を深めるために、「医科歯科薬科情報シート」や「在宅医療用語集」を作成
新城市	訪問看護ステーションの看護師や、医師、ケアマネジャー等で情報共有を行うICTの導入や「新城市医療介護ガイドマップ」を作成
豊明市	URが管理する豊明団地において、市、UR、藤田学園、自治会の連携の下、地域包括ケアの取組を開始（団地内の歩きやすい散歩コースをとりまとめた「豊明団地ウォーキングマップ」の作成や「ふじたまちかど保健室」の開設準備等）
半田市	半田市版の認知症ケアパスである「認知症安心ガイドブック」を作成

5 平成26年度の主な成果、課題

成果	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の理解と協力が得られた。 多職種研修により、関係者間の顔の見える関係ができつつある。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関連絡会議に地域課題をあげていけるよう、地域ケア会議の活発化が必要である。 ICTについて、活用を増やす必要がある。

6 平成27年度の主な取組状況、予定

安城市	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 家事援助、外出支援等「日常生活支援活動」や、運動、交流等「通いの場活動」の提供活動を行う団体への助成の実施を協議
	取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 「日常生活支援活動」や「通いの場活動」の提供活動を行う団体への助成の実施 不足している生活支援サービスの強化策の取組の検討 低所得者で介護を必要とする高齢者の住まいの確保に向けた検討
豊川市	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 運動、体操を取り入れた「認知症予防教室」を開催
	取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 認知症予防に関する知識啓発のため、「回想法教室」を開催 「介護・生活支援サポーター」の養成講座を開催 不足している生活支援サービスの強化策の取組の検討 低所得者で介護を必要とする高齢者の住まいの確保に向けた検討及び高齢者の住まいガイドの作成
田原市	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防リーダーを活用した「介護予防運動教室」を開催
	取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 不足している生活支援サービスの強化策の取組の検討 低所得者で介護を必要とする高齢者の住まいの確保に向けた検討
新城市	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 予防に関するアンケートを実施
	取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 健康体操等の介護予防事業も実施し、地域住民が元気で地域の支援者となる意識を持ってもらえる場を開催 不足している生活支援サービスの強化策の取組の検討 低所得者で介護を必要とする高齢者の住まいの確保に向けた検討
豊明市	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 藤田保健衛生大学病院と連携し、退院時の調整や在宅療養への移行の課題等を検証する「退院支援地域連携実証事業」の実施を協議 豊明団地において、「ふじたまちかど保健室」を開設
	取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 豊明市独自の「介護予防体操」の開発、普及 藤田保健衛生大学病院と連携し、退院時の調整や在宅療養への移行の課題等を検証する「退院支援地域連携実証事業」の実施 不足している生活支援サービスの強化策の取組の検討 低所得者で介護を必要とする高齢者の住まいの確保に向けた検討
半田市	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 「認知症徘徊搜索模擬訓練」を開催 認知症に関する啓発活動の推進のため、市医師会、エーザイ(株)と「認知症の方が安心して暮らせるまちづくり連携協定」を締結
	取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 「認知症カフェ」の開催 高齢者の外出の機会の創出や地域での居場所づくり、生きがい・目標づくりの具体化 不足している生活支援サービスの強化策の取組の検討 低所得者で介護を必要とする高齢者の住まいの確保に向けた検討

※取組状況は平成27年6月末現在

7 その他

平成27年10月29日（木）に、ウィルあいち（愛知県女性総合センター）において「地域包括ケアモデル事業中間報告会」を開催予定